

『奈良町の“にぎわい”づくり 十箇条』

奈良町の“にぎわい”づくりの各主体が、方針を共有し、連携・協力して取り組みを推進していくために、『奈良町の“にぎわい”づくり 十箇条』を定めます。

主に関係する方針
※ 56 頁の図の色に対応

一 一人ひとりが輝くまち ～ 住民主導のまちづくりを進める ～



- ・より多くの住民が“にぎわい”づくりについて、一緒に考え、話し合い、実践していく場をつくっていきます。
- ・行政が行う施策には、より多くの住民の意見を反映させます。
- ・若いエネルギーを積極的に取り入れ、さまざまな才能・能力をもった人々をつなぎ、民間の知恵を集結して“にぎわい”づくりをより一層効果的に進めます。

二 暮らしやすいまち ～ 「暮らし」「安全・安心」を第一に考える ～



- ・「暮らし」があってこそその“にぎわい”であることを踏まえ、暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ・地域の課題にきめ細かに対応し、子育て環境の向上や地域福祉の充実など、子どもから高齢者まで、より豊かな暮らしを営める居住環境づくりを進めます。
- ・町家や地域産業などを積極的に活かして定住を促進します。
- ・町家の耐震改修や防災拠点づくりなど、災害に強いまちづくりを進めます。

三 人と人がつながるまち ～ 地域コミュニティを育む ～



- ・地域の伝統行事や町内会の活動、日ごろのご近所付き合いなど、人と人がつながるまちづくりを進めます。
- ・地域全体で子どもを育み、高齢者を見守るまちづくりを進めます。
- ・新旧住民や学生、店主、観光客などのさまざまな形での人と人のつながりをつくり、まちづくりに活かします。

四 誇りをもてるまち ～ わが町への誇り・愛着を育む ～



- ・住民や店主などの奈良町に関わる多くの人々が奈良町の価値を共有できるよう、情報の発信や意識啓発を図るとともに、町家や町並み、祭り、行事などを通じて、奈良町に対する誇りと愛着を育みます。
- ・町の歴史や文化、魅力に触れる機会を増やし、子ども達にとっての誇りをもてる「故郷 奈良町」づくりを進めます。

五 歴史・文化が息づくまち ～ 歴史・文化を守り・育む ～



- ・世界文化遺産と地域の身近な歴史文化資源とがともに生き、高め合う奈良町の歴史・文化の魅力を掘り起こし、発信し、多くの人々が共有できるものとしします。
- ・町家の様式や生活文化、祭り・行事、生業などの奈良町の歴史・文化の担い手を育み、その価値を適切に守り、伝えます。

六 古都の風情が漂うまち ～ 町家・町並みを守り・活かす ～



- ・住民やまちづくり団体、行政などが一丸となって、奈良町の町家・町並みの価値やそこに暮らす魅力の発見・活用に取り組みます。
- ・奈良町の町家や町並みとの調和に配慮した景観の誘導・整備を進め、歴史的な風情が漂う景観形成に総合的に取り組みます。

七 奈良町らしい商いが成り立つまち ～ 奈良町らしい店を増やす ～



- ・町家を活かした店や奈良町の歴史や文化を感じられる商品を販売する店など、奈良町らしさを感じられる店づくりを進めます。
- ・新規出店や商売の継続を地域・行政が一体となって支援しながら、奈良町を愛する人が、地域と関わりながら奈良町に根付いた感覚による商いを増やしていきます。

八 再訪したくなる心休まるまち ～ 奈良町ファンを増やす ～



- ・「暮らし」と「観光」が両立するように、地域の生活文化を感じられる観光を奈良町の一つのブランドとして育み、故郷的感觉を味わえるまちづくりを進めます。
- ・奈良町ファンをつくり、何度も訪れたいと思える環境を整えます。

九 多様な魅力を楽しめるまち ～ 奈良町の魅力を伝え、知る ～



- ・海外からの観光客や奈良町を知らない人も含めた奈良町を訪れるすべての人が、季節や時間を問わず、奈良町の価値や魅力を感じ、学び、好きになってもらえるような、さまざまな楽しみが散りばめられたまちづくりを進めます。
- ・市内各所や県南部など、広域的な観光の拠点としての機能の強化ならびに魅力づくりを進めます。

十 観光客にやさしいまち ～ 回遊しやすい環境をつくる ～



- ・交通対策による安心して歩けるまちづくりや、案内板・サインの整備などを通じて、観光客が回遊しやすい空間づくりを進めます。
- ・奈良町に関する歴史や文化、伝統行事などのさまざまな情報を一元化して発信し、訪れやすく親しみやすい環境づくりを進めます。